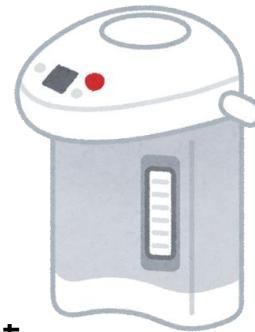


〈電気ポット（保温は無駄か？）〉

電気ポットを保温する場合と、しない場合の、年間電気代を比較（関東電気保安協会）すると、保温する場合は6,732円、しない場合は3,888円で、差は2,844円あります。

また、しない場合の二酸化炭素排出量は、保温する場合より48kg少くなります。この差は、計測によって変わりますが、もっと大きな差になる場合が多いです。

従って、電気ポットを使う場合は、沸かした後はコンセントを抜く、電源を切る、などした方が省エネになります。



少人数の家庭では、電気ポットの保温のオンオフなど、いちいち沸かすのが面倒な場合は、**電気ケトルで湯沸し、保温ポット（魔法瓶）に入れて湯を維持する方が省エネになります。**

但し、来客が多いなどで湯を使う頻度が多い場合は、電気ポットを使いましょう。この場合は、保温能力が良い電気ポットを使うことが望ましいと言えます。

【文責】赤尾 興一

3-4 省エネ製品の選び方

買い換え時には省エネ性能の高い家電製品を選びましょう。

〈省エネ製品を選ぶときのポイント〉

① 買い換えの場合には、**今使っている製品の詳細や能力などを最初に確認します。**

家族人数や部屋の広さなどに適しているか？消費電力はどれくらいか？など

② **使う頻度、設置するスペース、ニーズなどを確認し、ほしい製品を選びます。**

「省エネラベル」や「省エネ性能カタログ」*などが参考になります。

*資源エネルギー庁が年2回（夏・冬）発行し、家電製品・ガス石油機器が掲載されています。多くのメーカーの製品を一度に比較することで、手軽に省エネ性能を判断できます。

HTMLまたはPDF、資源エネルギー庁HPで公開。



省エネ型製品情報サイト

統一省エネラベル等の印刷・製品の省エネ性能情報



③ 「**しんきゅうさんサイト（パソコン版・スマホ版）**」*などを参考にするとよいでしょう。

今使っている製品とほしい製品の情報を入力することで、買い換えた場合の電気代などが分かり、比較結果の棒グラフも提示されます。

*環境省で開発した省エネ製品買い換えナビゲーション。エアコン、冷蔵庫、テレビ、照明・器具・LED照明、温水洗浄便座の比較ができます。パソコンでは「しんきゅうさん」で検索 <https://ondankataisaku.env.go.jp/shinkyusan/>



選ぶ目安となる省エネ性能を表示するラベル

省エネルギー ラベル

省エネ法で定められた製品個々の省エネ性能が目標基準を達成しているかを表しているので、選ぶ際の省エネ性能の比較等に役立ちます。カタログや製品本体、包装など見やすいところに表示されます。

＜対象機種（主な家庭用機器のみ）2022年10月末時点＞

冷蔵庫、照明器具、テレビ、エアコン、温水洗浄便座、ジャー炊飯器、電子レンジ、DVDレコーダー、電子計算機（パソコン）、電気冷凍庫、ストーブ、ガス調理機器、ガス温水機器、石油温水機器、電気温水器、電球

- ① 省エネ基準達成率 100%以上の製品にはグリーンのマーク（上図）を表示し、未達成（100%未満）の製品にはオレンジの（下図）を表示します。
従って、**グリーンのマークが省エネ性の優れた製品を選ぶときの目安になります。**
- ② 目標基準値を、どの程度達成しているかを%で示します。この**数値が大きいほど、省エネ性が優れた製品**といえます。
- ③ 定められた測定方法によって得られた数値を示し、APFのように効率で表すものや年間消費電力量のようにエネルギーの消費量で表すものがあります。
- ④ トップランナー基準を達成すべき年度で、機器ごとに設定されています。

統一省エネラベル

家電製品の省エネルギー性能を星の数で表し、併せて、省エネルギー ラベルと年間の目安電気料金を表示しています。製品選びにお役立てください。販売店の製品本体または近傍に表示するものです。

＜対象機種＞

冷蔵庫、照明器具、テレビ、エアコン、温水洗浄便座（電気便座）

- ① 多段階評価点=省エネ性能の高い順に5.0～1.0までの41段階で表示（数字）。
評価点に応じ、1つ星から5つ星までの半星を含めた★マークを表示。
- ② 省エネルギー ラベル=製品の省エネ性能や達成率などを表示。
- ③ メーカー名、機種名を表示
- ④ 年間の目安電気料金=エネルギー消費効率（年間消費電力量等）を分かりやすく表示するために、年間の目安電気料金で表示*。
＊電気料金は、公益社団法人全国家庭電気製品公正取引協議会「電力料金目安単価」から算出。



簡易版統一省エネラベル

多段階評価を行わない製品が対象で、製品の省エネルギー性能を、省エネルギー ラベル（①）と年間の目安電気料金（③）で表示しています。

＜対象機種＞

ジャー炊飯器、電子レンジ、DVDレコーダー、VTR、ガス調理機器、ガス温水機器（暖房機能付き）、石油温水機器（暖房機能付き）、電球



【文責】 宇野 親治、宮原 則子